

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第2回 桜島小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年6月12日(木) 16:00 ~ 17:00

2 場 所 家庭科室

3 あいさつ(委員長、学校長)

(1) 委員長より

来週からプール指導が始まるようだ。ボランティアの方も募集しているようで、いよいよ、皆さんの活動も本格的になってきたようだ。

(2) 学校長より

いつもありがとうございます。

前回の学校運営協議会後の学校の様子だが、5月末に3日間、午後、家庭訪問をした。この学校は、希望者に家庭訪問を行っている。クラスの半数の方が希望され、家に伺っている。この時期に保護者と顔を合わせて話ができることは、とてもありがたいことであり、大切なことであるため、教員もこの時間を大事にしている。

来週の月曜日から水泳指導が始まる。今週の月曜日に6年生がプール掃除をしてくれた。水泳指導の際は、ここ毎年、ボランティアの方にプールサイドからの見守りを助けていただいている。安全に水泳指導を行っていくには、上(プールサイド)から見ることが必ず必要で、それをボランティアの方に助けていただけることが、水に入ることができる教員が増えることになり、とてもありがたいことである。いつも本当にお世話になって、感謝している。

4 協議内容

(1) いじめアンケートの結果より

・別紙資料参照(会議後資料回収)

ア. 学校長より説明

いじめアンケートの前に、「桜島小学校いじめ防止基本方針」について話す。学校では、これを指針にしていじめ対応に取り組んでいる。4月に全職員で見直しをし、共通理解を図っている。大事にしていきたい方針として、一見、ふざけに見えたり、喧嘩に見えたりするものも、もしかしたらそれまでの事情があるかもしれないと、丁寧に捉えていかなければならないことと確認している。正確に事実を把握していかなければならないことも方針には書いた。

もう1点は、児童も大人も含めた周囲の者が同調したりすることがいじめを助長して

いくため、周囲の者が動ける力をつけていくことにも力を注いでいく。

「いじめ防止基本方針」の中にも定期的にアンケートを取ることが記載されている。今年度第1回目を5月に行った。それが別紙資料の集計用紙である。

このアンケートは具体的に「いじめられているか」という質問ではなく、「嫌なことや困ったりしていることはないか」という質問になっている。今年は、去年に比べ、「はい」と答える児童が増えた。別資料にて、具体的な内容を一覧にし、子どもたちがどんなことで嫌な思いで困ったりしているのか、記載した。この中で、学校でも「いじめ」として対応しなければならぬと認知したものは4件である。

このようにいじめアンケートを使いながら、見守りを続けていく。以上。

イ. 協議(○:委員の発言 ●:学校側の発言)

○	「対応」のところに「保護者に連絡」とあるが、連絡をする基準は何か。あらかじめ連絡するものなのか、それとも連絡せずに「どうしてもこれは、保護者に連絡しなければ」というものだけを連絡しているのか。そして連絡を聞いた保護者はその後、どんな風に対応するのか。相手の保護者に加害者側の保護者から連絡がいつているのか。最後まで学校側は確認をとっているのか。それとも「謝罪の電話をいれてください」というような話になるのか。どのようにされているのか。 保護者の対応が難しいと思う。学校から喧嘩したことを伝えられ、伝えられたことを保護者は聞いて、その後「どうしようか」という気持ちになると思う。話を聞いて、相手に謝罪の電話をいれた方がいいのか。それとも、このまま子ども同士の解決、学校にお任せして、保護者は家で指導はするけれど、相手の家まで連絡はいれなくていいのか。一般的にはどのような対応をしているのか。 保護者から「学校から連絡はいつているはずなのだが、相手の親からは何の連絡もない」とよく聞く。連絡先というのはたぶん皆さん、同じクラスでも知らない。なので、学校が教えてあげないと連絡のしようがないということもあると思うが。そういうときは、どんなふうに対応しているのか。 一般的には、伝えたら終わりです、という対応で、学校はここまでしかできないという範囲なのか。それとも、内容によっては、連絡先も教えて「ちょっと一言連絡をいれておいた方がいいですよ」というような指導的なことをしているのか。
●	保護者が知っておいた方がいい、というのが基本的なスタンス。学校で何らかトラブルがあり、指導したという場合には連絡をする。本当にわざとではなく、当たっちゃっただけ、ケガもない場合は連絡しない場合もある。なので、話し合いをしたものすべて連絡しているわけではないが、基本的には知っておいてもらった方がいいというスタンス。 保護者には、聞き取ってわかった内容と指導させてもらった内容、それから今後、学校としてどのように見守っていったり、対応していったりするかといった話をしている。保護者同士が謝る、謝らないというのは、学校が「謝ってください」というものではないので、そのような話は、学校はしていない。保護者の方から、「謝りたいので、連絡先を教

	えていただけますか」といっていただいた場合には、相手に連絡先を教えていいかを確認して、許可を得てから教えている。連絡先を教えてよいかの確認の連絡をすると、「謝っていただかなくてもいいので」という方もいるし、「教えてもらっても大丈夫です」という方もいる。もともと繋がりのある保護者同士だと、連絡先を知っている。トラブルのある子どもたちは、関わりの深い子同士だったりするので、保護者もお互いの LINE を知っていたりということもあり、「連絡しておきます」という保護者もいる。
○	うちも1回トラブルがあったときに、たまたま習い事が一緒だったので、習い事のお迎えの時に保護者同士で話をした。先生からも「このタイミングで話がしたいと相手の保護者がいっているが良いか」と連絡をもらった。「そういうことなら」と返事をした。もともと習い事を通して知らない人ではなかったなので、その場で話をした。
○	昔のイメージとは違ってきていると感じている。学校からトラブルで連絡があると、「かなり重大」と受け止めていた。今はちょっと違うのかなと思う。「かなりひどいことをしたのではないか」「すごく傷ついているから連絡が入ったのではないか」という認識で、必ず謝りに行く、子どもを連れて親子で謝りに行くのが自分の世代の子育ての認識だった。最近、そこまでしている人がいないのかなと。連絡があったとしても、「家で指導しておきます」ぐらいで終わっている気がする。どこまでの内容で学校は連絡をいれているのか気になった。よほどひどいことでなくても、ちょっとしたことで逐一、保護者に連絡をしているのか。保護者の方が「してほしい」という希望が強くて、そういう状況に学校はなっているのか。
○	「まだ、芽が小さいうちにできるだけ摘み取っておく」ではないが、ひどくなる前に学校は保護者に連絡をしていると感じた。
○	一覧表を見ていたら、「こんなことでいちいち言ってこなかったな」って思った。これくらいのことでも連絡をするのだと思った。悪口をいったとか、ちょっと叩いたとか、蹴ったとか。(私たちの時は、)よほどの理由か暴力でないと連絡は来なかったような感じだったが、最近ちょっとしたことで必ず学校は保護者に連絡をいれていると捉えてよいのだろう。
○	いじめの件数がものすごく増えるのではないかと考えた。
○	「A の家に B が A の母の許可なく入る」は、だめなのか。
○	A が嫌なのに B が A の母の許可なく入ってくるのか。うちも帰ったら、子が一人増えている、ということが多々あるので。自分が子どものころを考えても、友だちのお母さんに「入ってもいいですか」と聞いたことない。「お邪魔します」と普通に遊びに行っていた。これをいじめのアンケートに書くということは「A にとって嫌なことなのに B が入ってくる」という認識なのか、それとも A の母が「許可なく誰も家に入れないで」といっているのか。どういう状況でこれを書いたのか。これがアンケートに書かれるということが驚愕である。
●	「いじめられているか」という質問ではない。嫌だったり、困っていることはないかと聞いているからだと思う。
○	お母さんが「入ってほしくない」といっているから、入れたくないということか。

☐	家の中なので、たぶん、目が行き届かない。事故になる可能性があるということ。
☐	中学年なら、私も多分、「だめ」と言うと思う。家の中だったら。
☐	家の中にも友だちがいることが結構、常なので。帰ってきたら、最近はもう、誰かがいる。逆にうちの子が、していることも多々あるので。
☐	親同士の連携が取れていたら、そこで問題にはならないと思う。でも、兄弟は…とかなってくると、そこまでの責任が持てるかどうか。年の離れた兄弟がいるとか、そういうのが事故につながる可能性がある。0ではない。そういうところまで考えると、「だめ」というかも。
☐	外で遊びましょうってことか。
☐	昔は「外で」と言っていたが、あまりに暑いと外も危険。
☐	3年生から、ちょっと難しくなるのか。3年生から（アンケートの「はい」回答が）増える印象があったので。
☐	お互い自我がでてきて、おとなしかったのが、人間慣れてきて、3年で…という感じなのか。
☐	言葉遣いも気になる。「馬鹿」とか「阿呆」とか「死ね」とか。そういう言葉が低学年のうちからでてくるのだなと。家庭の中で当たり前になってしまった言葉だから、それを口に出してしまい、他所の家庭では「だめだよ」というふうに教えていったら、すごく傷つくというか。
☐	あと、アニメとかの影響が大きいのかなと。
☐	ヒーローとかでも、こういう言葉遣いを…。
☐	ちょっとね。ダークヒーロー系だと言ってしまうので、憧れて、真似していてというパターンがあるのかなと。
☒	2学期も3学期もアンケートを実施する。校長が言ったように「いじめ防止対策基本方針」に沿って、法律に則って対応していく。丁寧に見ていく中で、委員長も言われた通り、初期の段階でいじめに気付いて、SOS を出せるようにと指導していくことがポイントになると思う。保護者の方にも共有して、一緒に考えてもらえたらと思っている。また、地域でもそういう声があったり、異変があったら教えていただきたいと思う。

（1）危険箇所について

・別紙資料参照

ア. 教頭より説明

危険箇所について。別紙に一覧表をつけた。雨天時の増水や冠水などで登下校の危険な箇所と、登下校で憂慮される状況がみられる箇所があげられている。廃屋等、児童が立ち入ると危険が考えられる箇所に記載してある。住所等が載っている。なかなか改善していないこともあるが、引き続きあげ続けていきたいと思っている。みていただいて、「ここは改善されている」とか、また新にというところがあれば、教えてほしい。まずは、この表でみてもらい、改善されているところ等を教えてほしい。

「信号をつけてほしい」等、なかなか要望をあげても通りづらい。あげ続けるしかない

いと思っている。重大な事故が起こる前に、なんとか改善してもらいたい。地域の方に見守られていることでなんとか安全を保っている。感謝しているが、そこに頼りっぱなしになるわけではない。何か改善がないかと思っている。

今日は中央に校区の地図を用意した。「この場所危険」とか「ここでよく事故がある」などがあったら、みんな確認したい。

イ. 協議(○:委員の発言 ●:学校側の発言)

○	朝、送ってくる車がたくさんある。黄門の前が危険。子どもたちも広がってしまっており、送迎車で危ない。あと、ウエルシアに停めて、走ってくる子も危険。青門の方がいいか。
○	青門は、そこまでではない。
○	(ウエルシアで)降ろす方もいる。停めて、学校の門まで連れてきてくださる方もいる。ウエルシアに停めるのはどうかとも思うが。
●	ウエルシアに車を停めるとお叱りを受けることが多々ある。
○	あれ、危ないと毎回思うが、どうしてあんなに車が来るのだろう。
○	学童がちょっと離れているところとか、放デイは仕方がないと思うのだが、結構、保護者が来ている。
○	暁自治会の登校ルートにて。店の看板があるのだが、骨がむき出しになっている。
○	さびてぶら下がっていて、その下を子どもたちが歩くので、「これ、いつ落ちてくるか」と旗当番の時に思いながら歩く。「この下歩かないで」と伝えるのだが。
●	通ると危ないということか。③のところか。
○	看板があって、看板はもう、壊れていて、骨格だけが残っている。それが、さびて、折れてぶら下がっている。すごく怖い。
○	人は住んでいないのか。
○	だいぶ前から閉店されている。店自体、開いているのを見たことがない。
○	ちょうど子どもたちが通るところで、大人だと目線に入るが、子どもだと上の方にあるから、全然気づかず歩いている。それがいつか頭の上に落ちてきたら怖いなと思っている。
○	これ、怖いなと思ったが、誰にいったらいいのかわからなかった。今のところは誰に危害を加えているわけでもないし。
●	③より④で進めた方がよさそう。廃屋にして、所有者がわからないから、なんとか行政からも働きかけてもらいたい。
○	桜島公園前の交差点から東方面について。多分、この辺の子どもたちは、こちらの信号機のある横断歩道を通らなければならないが、近いから信号機のない横断歩道を通っている。
●	横断歩道があるのだから、通れるのではないか。
○	あの道の横断歩道は、結構朝は結構危険。

☐	本来は横断歩道を渡らずに信号機有の横断歩道で渡れば、問題がないのだが。
☐	南は全部、信号機有の横断歩道を渡る。ここを渡ったらだめ、といっているのです。
☐	せめて、歩行者専用の信号機だけでもつけてほしい。
☐	登下校の時は、信号機なしの横断歩道を通っていなくても、放課後によくおっている。夕方とか。よく見かける。
☐	あと、ここ（暁地区の）十字路が真っ直ぐではなく、若干被っていない。しかも、23号ではなく、中抜けにこの道を使う車が多いので、交通量がそこそこある。横断歩道もなく、子どもたちも、2回渡るか、斜めに渡るか、毎朝悩みながら。そこだけ保護者がついて行って、渡らせている。
☐	ここは、この間死者が出た。
☐	見通しが悪く、見えない。
☒	どう渡るのが一番いいのか。
☐	ここの（中抜け）対策は、道を細くした。地面にも交差点にも色を塗った。そこまでは、やった。
☐	交通量が多くて、ちょっと怖い。
☒	横断歩道希望としてあげていくか。
☐	横断歩道の有無というより、道がまっすぐでないので、どう、横断するか悩んでいる。
☐	ルートを変えたらいいのではないかな。
☐	こっちはこっちで、交通量を多い（ルート外）。でも、こっちは一応、歩道があるので、子どもたちはちょっと遠いがこっちから行った方がいいのではないかな、と考える。
☐	通学路を変えてもいいのではないかな。
☒	PTAの地区委員が吟味して通学路の変更を検討することもよいと思う。
☐	変えられるのであれば、こちらから（ドン・キホーテ寄りの歩道のある道路）いった方がよいと思う。そうしたら、ここを1回渡ってしまえば、あとは歩道があるので。
☒	通学路の変更で何とかできるのであれば…。
☐	信号を2回渡らなければならなくなる。でも、ここはいつも民生委員の方が立っているのです、安全だ。
☐	通学路を変更すれば、看板下も通らなくてよくなる。
☐	通学路はPTAでたてているのか。
☒	通学路変えて、すぐに「実はあかん、また戻す」というわけにはいかない。ちょっとどうかということをPTA確認してほしい。
☐	暁1・2のPTA役員に連絡をする。
☐	次の集まりでいってもらえるとありがたい。
☐	伊勢鉄の高架も雪が降ったりすると危ない。
☐	しかし、あそこを通る方が地下道を通るより安全だ。
☐	みんな危険にみえてくる。
☐	表にも載っていたが、ここの信号が混むから、ここを抜けていく車もあり、「許可書がな

	い車は通さないようにしようか」と怒っている人もいる。結構、通勤時間にここで抜けて、曲がっていく。危険。
●	時間帯によって交通を制限することを他地区で取り組んでいるところもあるようだ。
○	7:30~8:30 はだめだとか。
●	ここは、通学路の見直しなので、横断歩道というよりは…。この廃屋はあげてもいいと思う。
○	それをいったら、全部の地区がそういう意見がでてくるような気がするので、通学路の見直しというかんじて、PTA 全体で考えていきたい。
○	地区委員さんにあぶないところをあげてもらった方が一番いいかもいれない。
●	今回は、看板についてあげるが、今後 PTA の中でも確認をしていただいて、もしあれば、随時反映したり、あげていたりできる。
○	連絡する。
●	随時気づかれたらその都度情報をいただけたら、教育委員会に伝えながら、いければと思うので。

5 教育支援課より

本日は、いじめアンケートと危険箇所について協議していただいた。いじめについては委員長がいったように早期発見、早期対応で学校の方でも動いていただいている。みなさんに見てもらい、よかったのは、こどもたちはこんなことで困っているということがわかっていただけたことかと思う。そのままを載せている。その子にとっての困りごとは、本当に様々だ。

3年生ということについては、低学年から中学年にかけてということで、行動範囲も広くなる。また、少しずれるかもしれないが、今の中学年ぐらいが、コロナ禍が未就学の頃で人間関係を構築する上での…というところで、うまく通過できずに上がってきた段階なので、多少人間関係をうまく保つことに費やす時間がなかった学年かもしれない。その辺りは、学校側も今後気を付けてみていただきたいし、教育委員会も気を付けてみていこうと思っている。

あと1点については、危険箇所点検。よかったなと思う。他の学校はこの一覧表を見るだけだが、「場所はどこだろう」とわからない。校区の大きな地図を出して、それぞれ「ここが危ない」とか「危険なところはないか」とみなさんからの情報を得たということは非常に大きかったのではないと思う。他の小学校にも広めていこうかなと思う。また、今後、教頭もいっていたが、「あの時は言えなかったが、家帰ってみたら、ここやっぱり危ないな」ということがあったら、ぜひ、学校の方にいていただいて、こどもたちの安全、安心についてつながるようにしていただきたい。桜島は丁寧にみていただいている地域なので、集団登校ではないが、こどもたちが安全に登校しているところだと思う。それをますますもっと、こどもたちが小さな集団でも安心してこれるように大人の目でみていただいて「危ないな」というところについては、学校の方に情報提供をしていただくとありがたい。本当に実りのある会にさせていただいて、ありがとうございました。今後どうぞよろしくお願いいたします。

6 その他

- ・学校だよりについて
- ・第3回学校運営協議会について
- ・第4回学校運営協議会について